

Project Name

「一汁一菜食」から学ぶ倉敷の文化

人と人とが交流し、元気を取り戻せる町家カフェ

不登校やひきこもり傾向にある若者およびニートと言われている人たちは、自分に自信をなくしている場合が多く、社会参加をしたくてもなかなか一歩が踏み出せない状況にあります。私たちは、このような若者たちがさまざまな人たちと触れ合ったり関わったりすることで、自信を取り戻すことができるような「中間的就労の場」が必要であると考えます。

私たちはそのような「中間的就労の場」として、地域の人々と観光客とのふれあいの場となるカフェを美観地区の町家で開いています。メニューは地元の文化を大切にし、ぜいたくをせず普段の生活で体によいものを取り入れることができるものということで、「一汁一菜食」にこだわっています。地元の食材にこだわった「一汁一菜食」は、地域の方や観光客に好評で、月に2回の開店日には町家周辺に住む高齢者の方々も、カフェに来ることで若者や観光客と交流ができると喜ばれ、楽しみに訪れています。

カフェを手伝っている若者たちは、接客や食器洗いだけでなく、箸袋作り、看板製作、ご近所へのチラシのポスティングなどそれぞれ得意なこと、できることを無理のないように続けています。この活動を通じて若者たちが元気を取り戻し、社会につながるきっかけになればと思っています。



七夕飾りワークショップ／七夕飾りワークショップ／看板とメニュー表／かあさんランチ／調理中の様子

Group Name

「倉敷のかあさん」Mamma Cafe

不登校や引きこもり傾向にある若者およびその保護者や支援者で、2010年より毎月2回、倉敷市東町の町家でカフェ事業をしています。

【お問合せ】Tel・・・090-4147-2695 Fax・・・086-455-4119 E-mail・・・sakakjy@yahoo.co.jp
facebook・・・<https://www.facebook.com/MammaCafe/timeline>



事業概要

事業の目的

社会になじみにくい若者たちが、イベントやカフェの手伝いをする中で、地域の人や観光に訪れた人たちとふれあい、自信を取り戻し、自立への手助けとなることを目的としています。

活動内容・実績

エコを学ぶ竹箸作りや、祭り寿司作り、ミニ門松作りなどのワークショップを開催した。また若者の支援活動をしている団体の情報交換会には13団体の参加があり、有意義な話し合いができた。

団体からのメッセージ

倉敷町家のカフェにあそびにきませんか？おいしいお昼ご飯を食べて、若者たちと語り、働く姿を見守ってください。

私たちが大切にしていること・・・カフェは、若者の就労支援の場であると同時に、私たちが地域の人や観光に来た人と出会い、交流する場であるということ。

この活動を通じて得たもの・・・カフェやイベントに参加した若者が、自信を持って働くきっかけになったこと、参加者に私たちの活動を知ってもらえたこと。

